

Be Happy! その 50

第 22 回 加古川南高校 総合学科発表会 開催

2月4日(土)13時から本校体育館で、令和4年度の総合学科発表会を開催いたしました。これは、本校の特色・魅力ある教育活動や授業における自己の成長やその成果を発表する大切な行事です。

生徒スタッフとして2年次12名、1年次9名の実行委員や放送部の生徒が、「ひろげよう未来への可能性」を合言葉に、在校生や来客の皆さんに有意義な時間を過ごしていただけるようにと、会場設営や準備、進行に活躍しました。

発表者は、緊張感を克服しながら、誠実でひたむきな姿勢で一生懸命に表現しており、感銘を受けました。

授業を通して自己の可能性に挑戦し、目標達成や自己実現に多くの生徒と一緒に努力している姿は、まさに加古南の学校文化となっていることを改めて感じました。

学校文化と言えば、今年度着任して、文化祭、体育大会、修学旅行のクラスレクなどで披露されたダンスパフォーマンスのレベルの高さに驚嘆していましたが、今回「ダンスk」の授業でのオリジナルダンスパフォーマンスを見て、授業が源となってレベルが向上していることに気づかされました。

学校外の皆さんは、学校評議員、中学2年生とその保護者の皆さん、そして在校生の保護者の皆さんが足を運んでくださいました。誠にありがとうございました。

3人の中学生に感想を聞きましたら、「スライドの作り方が上手」「スクリーンに、カメラ撮影した画像が映し出され工夫をしている」「いろんなことを一生懸命に学んでいる」と即答してくれました。その着眼点や突然の質問にもしっかりと応えてくれた中学生2年生の生徒さん、本当にありがとうございました。皆さんとまた、加古南でお会いできましたら嬉しい限りです。

以上、総合学科発表会の講評として壇上でお話できなかったことをまとめました。

壇上では、視野をひろげ、多角的に事象を見つめることの大切さを伝えたくて、お城の話と春の野に咲く一輪の花の話をしました。天守閣の美しさはお城の魅力の一つですが、それを支えている石垣に注目すると、大きな石を支えている小さな石の存在があってこそその天守閣であるということ、春の訪れとともに咲く一輪花の美しさは、寒い冬の大地にしっかりと張った根っこの存在があるからこそ、という内容で話をしました。生徒の皆さんは、是非、目に見えないものに気づき、大切にできる人間に成長してもらいたいと願っています。 **Be Happy!**

